

信濃西垣大

純利益が27%増加

3月期 経費削減が寄与

大垣西濃信用金庫が16日
発表した2021年3月期
決算は、業務効率化による
経費削減が寄与し、純利益
が前期比27・9%増の7億
600万円となった。

本業の収益力を示す実質
業務純益は、有価証券の売
却に伴い10億8400万円
の損失を計上したことから
39・5%減の9億2000
万円。一方、実質業務純益
から国債等債券損益を差し
引いたコア業務純益は、33
・3%増の17億1200万
円だった。

期末貸出金残高は新型コ

ロナウィルスの感染拡大に
よる企業の資金需要の高ま
りを受け、3・1%増の3
516億5000万円。期
末預金残高も手元資金の確
保や貯蓄ニーズの高まりが
あり、4・8%増の772
2億5800万円だった。

財務の健全性を示す自己
資本比率は0・07%低下の
13・13%。金融再生法ベ
ースの不良債権比率は0・29
%上がり、3・96%だった。
22年3月期予想は、新型
コロナの影響の先行きが見
通せないため未定だが、21
年3月期と横ばいの利益確

保を目指す。

(鈴木隆宏)